

箱根海賊船 訪日外国人向け多言語案内 ヤマハ「おもてなしガイド」の運用開始について

小田急グループの箱根観光船株式会社（住所：神奈川県小田原市 社長：國廣 誠）では、訪日外国人向けの観光案内強化施策として、ヤマハ株式会社が開発した音のユニバーサルデザイン化支援システム「おもてなしガイド」を活用した多言語サービスの運用を開始いたします。

これにより、日本語が分からない外国人観光客の方や音声を取りづらいお客さまに対し、さまざまなご案内をスマートフォンやタブレットなどに多言語で表示することが可能になり、芦ノ湖のご遊覧を楽しんでいただくことができます。

ヤマハ「おもてなしガイド」の概要は下記のとおりです。

記

1 概要

ヤマハ「おもてなしガイド」のアプリを起動して、流れてくるアナウンスをスマートフォンのマイクで拾うだけで、その内容をさまざまな言語に翻訳された文字で確認することができます。音で通信を行うため、インターネットに接続していない状態の端末でも情報を取得できます。

情報を取得するには、AppStore または Google Play ストアから「おもてなしガイド」のアプリをダウンロードし、起動する必要があります。

2 運用開始時期

2018年4月1日（日）から

3 導入場所

箱根海賊船「ビクトリー」の船内

※今後、その他の海賊船や各のりばにも順次導入する予定です。

4 対応言語（12言語）

日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語、タイ語、ベトナム語、マレー語、インドネシア語、タガログ語、フランス語、ドイツ語、スペイン語

5 表示内容

海賊船船内の案内や、芦ノ湖周辺の観光名所の紹介など

6 利用手順

- (1) AppStore または Google Play ストアから「おもてなしガイド」をダウンロード。
- (2) 海賊船船内アナウンス放送時に「おもてなしガイド」を起動する。
- (3) スマートフォン画面上に、設定した言語または選択した言語で文字情報が表示される。

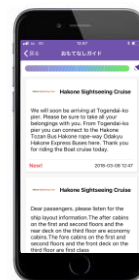
(アプリ表示画面イメージ)



- ① 「おもてなしガイド」アプリをダウンロードし端末上でアプリを起動



- ② 日本語のアナウンスを受信



- ③ アナウンスの内容を任意の言語に翻訳された文字で表示

※その他の「おもてなしガイド」対応アプリでも受信可能

<おもてなしガイドとは>

ヤマハの「おもてなしガイド」は、多数の出願中特許を採用した「音のユニバーサルデザイン化」を支援するシステムです。本システムを導入すると、インターネット環境がないユーザーのスマートフォンにも多言語化された文字情報を提供できるようになります。既存のスピーカーやアナウンス設備などを活かしたままの導入も可能です。翻訳情報が必要のない方には、普通の音声としてしか聞こえないため、利便性は低下しません。

「おもてなしガイド」ウェブサイト：<http://omotenashiguide.jp/>

以上